

事業所名

スマートキッズジュニア港南

支援プログラム

作成日

2025年

1月

17日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		14時0分から	18時0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 就労・自立に向けてのPC文字入力や音声入力の練習課題		就労のための作業練習(道具の仕分け、部品の組み立て、計量作業、洋服畳み、封筒折り) 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 自立した生活を送るための買い物学習		
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題		指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)		
	認知・行動	数字の理解や計算の習得に関わる課題 金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等)		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 興味・関心の幅を広げるための活動(日本の文化に親しむ(書初め・正月遊び等)) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等)		
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 文字や文章の読み書きの理解のための課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題		口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等)		
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST)		自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 他者と自分の関係性や距離感の理解のための活動(パーソナルスペース、プライベートゾーン)		
家族支援		家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組み、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。 主たる養育者の心的負担軽減のため、日ごろの子育ての悩みや生活の中での対応困難さについて話しを聞き、対応についてできることは何か、具体的に一緒に考える。共に試行錯誤しつつ、必要に応じて他相談機関を紹介する等しながらご家族全体の健康面を含めた支援を行っていく。		移行支援	将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。 学校、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。	
地域支援・地域連携		学校とご家庭での課題が違う場合、原因について検討・共有・新たな支援を提案する役割を担うことで、それぞれの環境での適切な対応、また出来る範囲で統一された対応を促し、利用者の成長に繋げる。 他事業所と本事業所での利用者の様子が違う場合、その要因について十分に検討し、目標と支援内容の調整を行うことで、過ごしやすい環境を提供する。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(お買い物、公園へ行こう)、調理活動(チョコ作り、ゼリー作り)、保護者会、クリスマス会、お誕生日会				